

競技・その他注意事項

- 1、本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び、本記録会申し合わせ事項により実施する。
- 2、陸協、又は各地区学生陸上競技連盟平成28年度登録ナンバーカードを使用すること。
- 3、9時50分に代表者の方は必ず受付まで来ること。打ち合わせ等がある。
- 4、競技当日、各種目をやむなく棄権する場合は本部まで申し出ること。
- 5、当日エントリーは受け付けない。
- 6、対校戦は各種目において**両校3名まで**とする。
- 7、対校得点に関しては、各種目において**両校の出場者数の合計によって変動する。**
例)体大3名 天理1名 合計4名の場合、1位4点 2位3点 3位2点 4位1点
- 8、ウォーム・アップについては競技に支障がないように注意して行うこと。
- 9、各種目の招集時刻は以下の通りとする。招集場所は現地集合とする。

	短距離	長距離	跳躍	投擲
場所	現地	現地	現地	現地
時間	10分前	10分前	15分前	15分前

*注1.棒高跳、ハンマー投は30分前とする。

*注2.リレーは20分前とし、全走者がゴール地点で行う。

- 10、計時は、すべて電気計時(1/100)で行う。
ただし、判定装置に不具合が生じた場合は手動計時(1/10秒)で行うことがある。
- 11、トラック種目に関しては、現地コール時に腰ナンバーを配布する。
- 12、トラック種目の対校選手は**1組目に編成**する。
ただし、エントリー数によってオープン選手が1組目に入る場合がある。
- 13、リレーのオーダー用紙は招集時刻1時間前までに本部に提出すること。
- 14、フィールド種目において、**対校選手は無条件で4回目以降の試技を行える。**
- 15、フィールド種目において、OB・OGの試技は3回までとする。
- 16、**跳躍種目**において、4回目以降の試技は、**対校選手を含む最大8名**で実施する。
従って、4回目以降の試技を行えるオープン選手の数、**対校選手の数によって変動する。**
- 17、**投擲種目**において、4回目以降の試技は、**対校選手を含む最大14名**で実施する。
ただし、オープン選手は**3回目までの記録上位者8名**が4回目以降の試技に進める。
- 18、個人所有の投擲物を使用する場合は、招集時刻1時間前までに本部にて検定を受けること。
- 19、投擲種目の練習は、投擲審判員の指示に従い競技開始前に競技場で行う。
各種目とも原則2投までとする。
- 20、記録は結果掲示板にて提示する。
- 21、参加者の競技中の発病、負傷に対して主催者は応急処置以外の責任を負わない。
- 22、荷物は各個人で責任を持って管理し、盗難・紛失について主催者側は一切責任を負わない。
- 23、競技開始時刻を運営上変更する場合がありますので、注意すること。
- 24、その他、不明な点は本部に問い合わせること。